

若宮小だより 特別号

令和3年10月29日
若宮小学校

今年5月に行われた「全国学力・学習状況調査」の本校児童の結果について分析しました。今後の学校としての主な課題とその改善策などをまとめましたので、ご報告させていただきます。

国語科の結果と改善策

四 相川さんは、「資料」を読み、面ファスナーが宇宙でも使われていることについてまとめています。面ファスナーは、国際宇宙ステーションの中でどのように使われていますか。次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）

- 面ファスナーのよさを取り上げて、国際宇宙ステーションの中での使われ方について書くこと。
- 「資料」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 五十文字以上、七十文字以内にとめて書くこと。

※左のげんこう用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。 ※の印から書きましょう。どちらの行を変えないで、続けて書きましょう。

三 相川さんは、「資料」の——部を読み、面ファスナーのくっつく仕組みについて考えています。メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出しましたか。次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）

- ヒントになったことと、面ファスナーのくっつく仕組みが分かるように書くこと。
- 「資料」の中の文章と「面ファスナーの仕組み」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 五十文字以上、八十文字以内にとめて書くこと。

※左のげんこう用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。 ※の印から書きましょう。どちらの行を変えないで、続けて書きましょう。

二 相川さんは、「資料」を読み、面ファスナーが宇宙でも使われていることについてまとめています。面ファスナーは、国際宇宙ステーションの中でどのように使われていますか。次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）

- 面ファスナーのよさを取り上げて、国際宇宙ステーションの中での使われ方について書くこと。
- 「資料」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 五十文字以上、七十文字以内にとめて書くこと。

※左のげんこう用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。 ※の印から書きましょう。どちらの行を変えないで、続けて書きましょう。

接続語がもつ意味を理解し、同じ使われ方をしている文を選んだり、既習漢字の書き取りをしたりする問題は比較的正答率が高かったです。その一方で、自分の考えをまとめて文章にするという問題への対処が難しかったです。特に上にある問題のような、いくつかの条件の加わってくると、より正答率が低くなります。同様な問いを国語科の学習において取り上げて、実践していきたいと思えます。

算数科の結果と改善策

算数のどの問題に対しても無答が少なく、粘り強く問題に取り組んだことがわかります。全体的な傾向として、「数と計算」「測定」の領域が全国・兵庫県の平均正答率より高く、「変化と関係」「データの活用」の領域が全国・兵庫県の平均正答率より低かったです。また、評価の観点から見ると、「知識・技能」に比べると「思考・判断・表現」に課題があることがわかりました。以下に具体例をあげます。

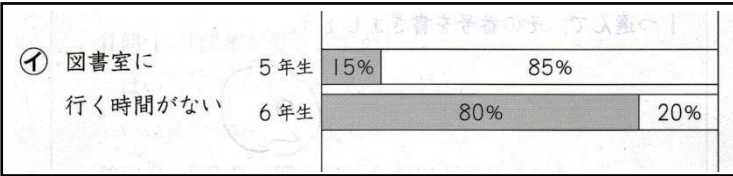
【全国・兵庫県の平均よりよくできていた問題】

- 「8人に4Lのジュースを等しく分ける」
- 「30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く」
- 「2つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く」

【全国・兵庫県の平均より低かった問題】

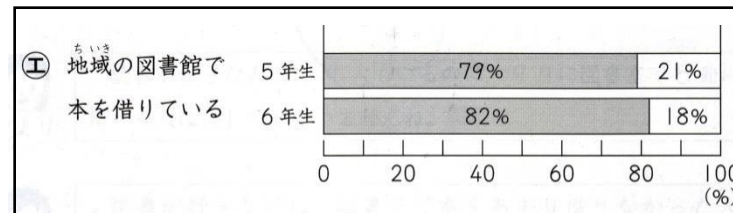
- 「500mを歩くのに7分間かかることを基に1000mを歩くのにかかる時間を書く」
- 「分速540mのバスが2700mを進むのにかかる時間を求める式を書く」
- 「114人のデータは、表のどこに入るかを選ぶ」

さらに、正答率が最も低かった問題は、帯グラフで表された複数のデータを比較し、5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合のちがいが、一番大きい項目はどれで、あてはまると答えた5年生と6年生の割合はそれぞれ何%ですかというものです。



正しい答えは、『「① 図書館に行く時間がない」です。この①「あてはまる」と答えた5年生は15%で6年生は80%』なのですが、

「② 地域の図書館で本を借りている」と答えた間違いが一番多かったです。原因は、違いの大きさに注目すべきところを、5年生、6年生とも当てはまる割合が一番多い②を選んだからだと考えられます。このことから、



何を問われているかについて確実に読み取る力を養うことや、帯グラフからデータの特徴や傾向を読み取るために、帯グラフのどの部分に着目したのかなどを説明できる力を養うことが大切になってくると考えます。

最後に、今回の結果から授業に生かしたいことは、まず問題文をよく読んで理解し、何を求めるのかを明確にすることです。そして、数学的な見方や考え方を働かせて思考・判断・表現する能力を高めていくことです。そのためには、自分で考えて解こうとする意欲を持つこと、筋道を立てて分かりやすく説明すること、意見を交換し合って考えを深めていくことを大切にしていきたいと思えます。

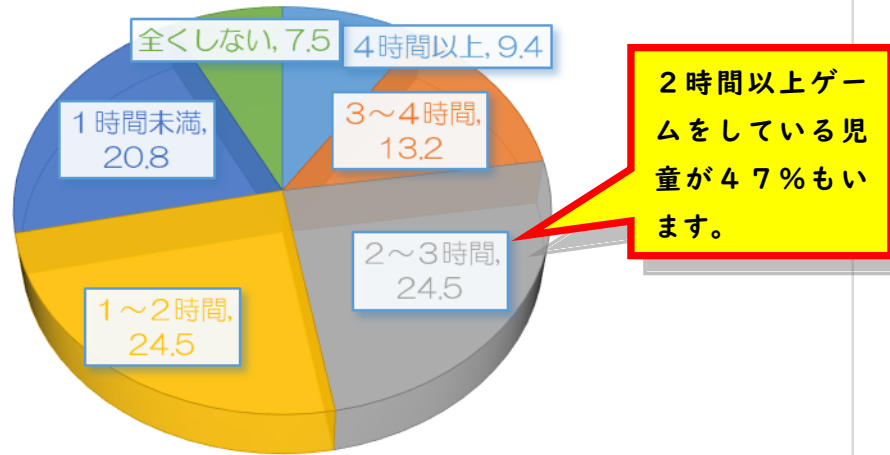
また、基礎基本の定着も大切ですので、Chromebookを活用し、ドリルパークでの演習も行っています。詳しい解説は、下記ホームページを参考にしてください。

※<https://www.nier.go.jp/21chousa/21chousa.htm> 参考：令和3年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について 国立教育政策研究所 HP より

児童質問紙調査の結果

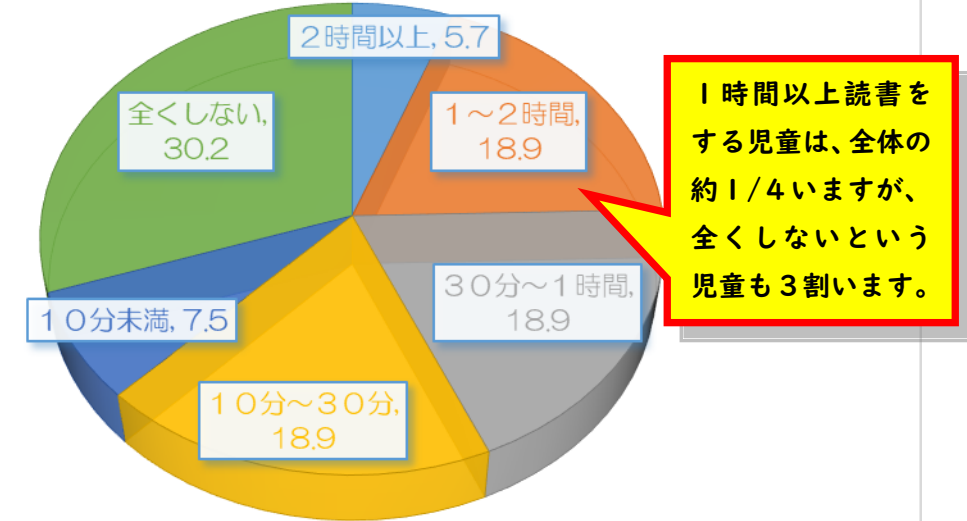
【ゲーム】

1日当たりどれくらいの時間、ゲームをしますか



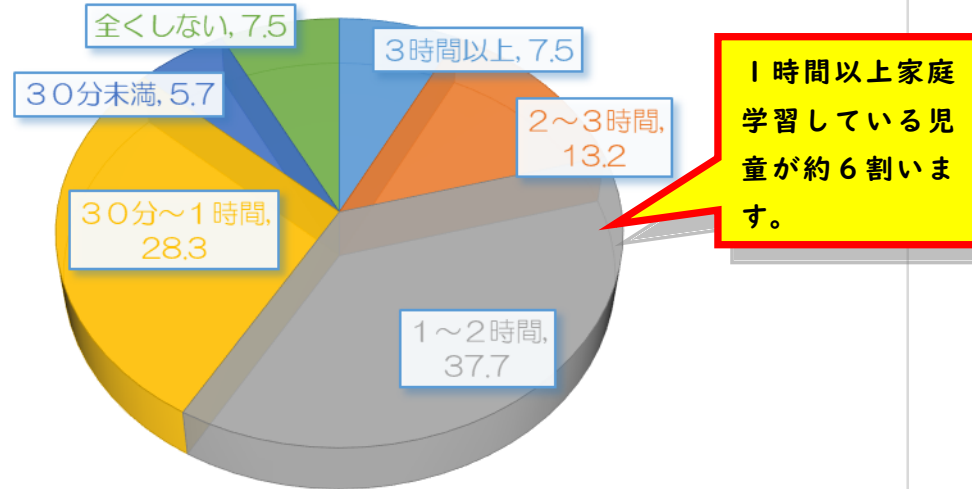
【家庭での読書】

1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか



【家庭学習】

1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか
(家庭学習)



【今後の改善点について】

起きる時刻、寝る時刻がほぼ決まっています。基本的な生活習慣が身についています。ゲームについては、1日に2時間以上する子が47%いるという結果でした。また、今回は、YouTubeなどのインターネット動画の視聴時間は調査されていません。ゲーム時間と合わせると、かなりの時間になると考えられます。ご家庭でもお子様のネット環境を確認しつつ、管理の方、よろしくお願いいたします。

家庭学習の充実、今年度の重点課題でもあります。1時間以上家庭学習している児童が半数を超えているのは、いい傾向です。さらに求めたいことは、やらされてする家庭学習ではなく、自ら課題をもって臨むものにしてほしいということです。

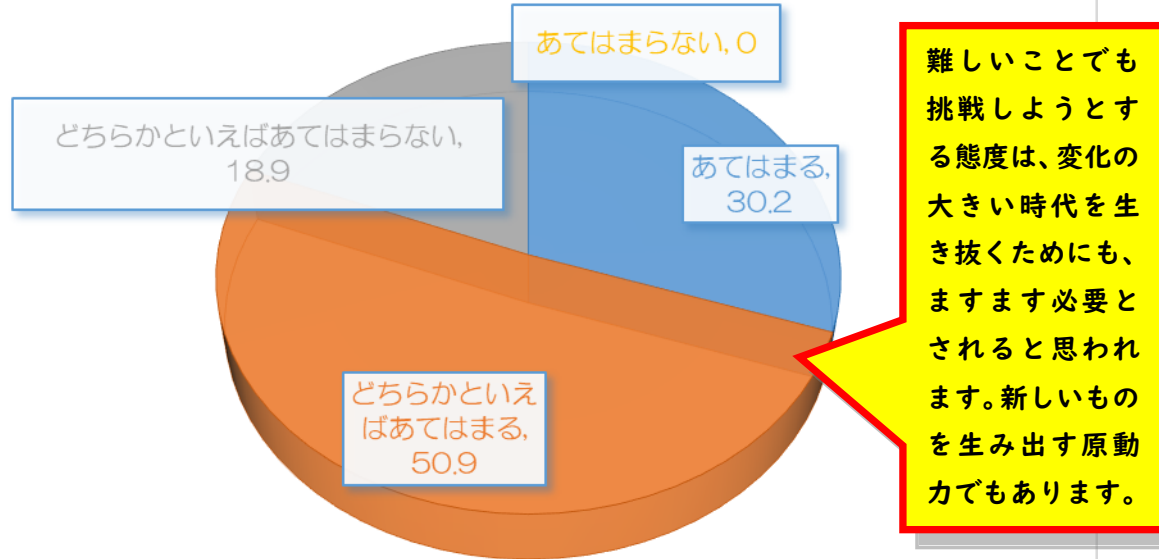
Chromebook内のドリルパークは、自分の課題を確認し、伸ばすのに非常に有効なツールです。

読書の大切さは昔も今も変わりません。本校においても、秋に読書月間を設け、読書に親しめるように、子どもたちへ支援のしているところです。読み聞かせボランティアの「どんぐりさん」にも毎日学校に来ていただいております。全学年での読み聞かせを行っています。ご家庭でも、お子様が手軽に本を手にとることができるようにするなど、読書環境の整備にお努めいただければと思います。ご協力よろしくお願いいたします。

【本校の子どもたちのポイントが高かった項目について】

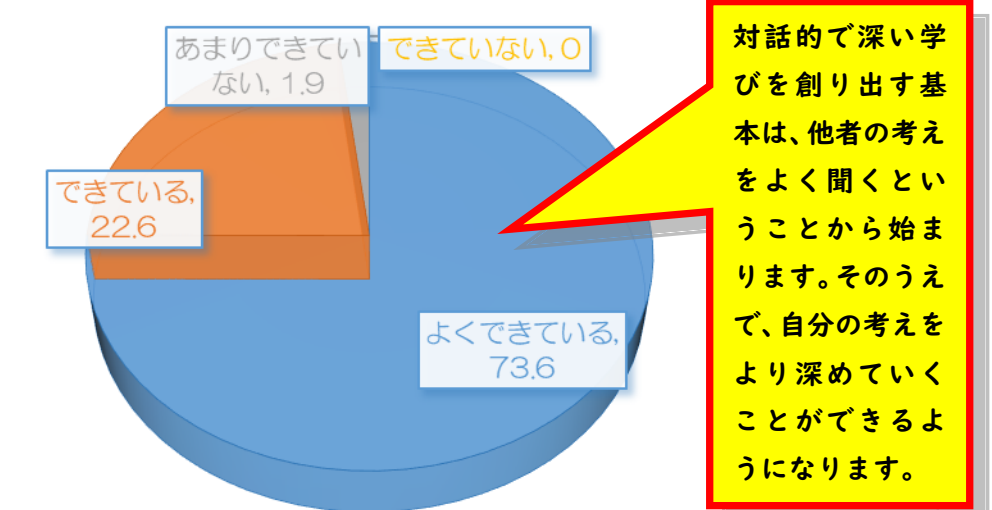
【挑戦する心】

難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか



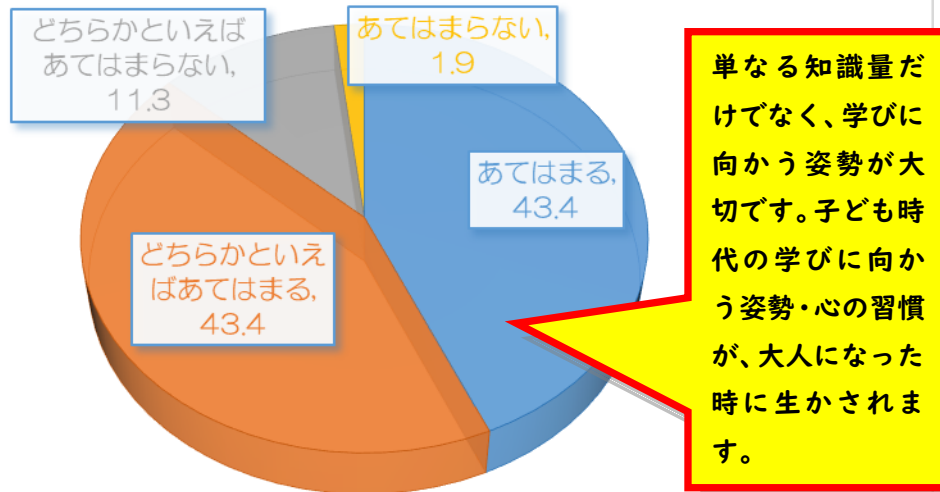
【友達の話や意見を聞く態度】

友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。



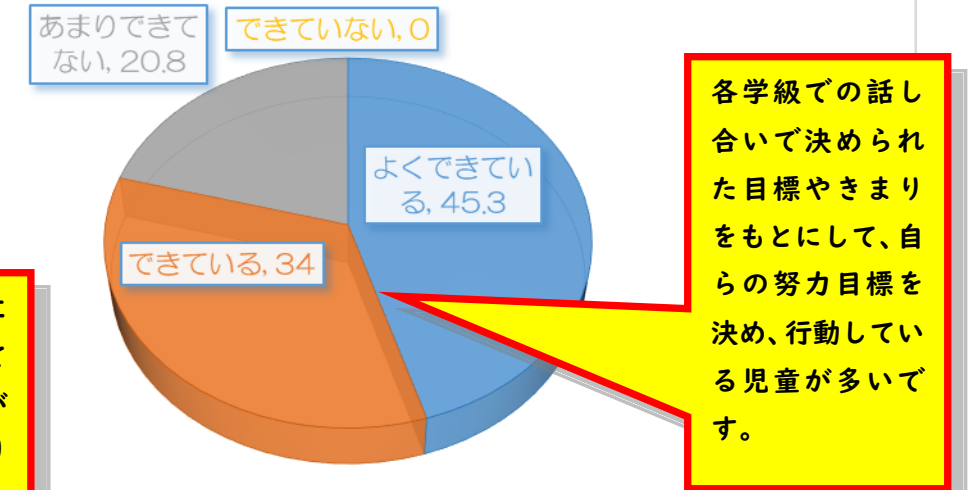
【自ら考え、自ら取り組む態度】

これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



【学級での話し合いの生かし方】

学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか



これら以外の項目でも、将来に夢や希望を抱き、目標を持っている児童の割合が高く、全員が「人のために役立つ人になりたい」と考えているなど、前向きな態度がうかがえます。

本校では、加古川市全体で取り組んでいる協同的探究学習や情報教育の推進に取り組んでいます。また、児童の気持ちに寄り添い、日々の児童の変化を直接のかかわりの中や、日記、アンケート等で早期に発見することで、お互いに心の通った教育活動を進めていきます。誰もが過ごしやすい学級・学校、創造的に学びあえる学校文化を醸成し、創立以来の学校教育目標である「すこやかで、創造的に生きようとする児童の育成」を目指します。保護者の皆様、地域の方々のお力添えを今後ともよろしくお願いいたします。